

掲示 板

- ・ 単位修得試験（2月試験）の実施について
- ・ 教育実習講義（事後指導）の実施について
- ・ 教職総合演習の開講について
- ・ 学力に関する証明書（成績証明書を含む）の発行時期について
- ・ 平成23年度 単位修得試験日程について
- ・ 平成23年度 スクーリング単位修得再試験について
- ・ 平成23年度 リポート提出日と添削後の返送予定（目安）について
- ・ 学費の分納（後期生）について
- ・ 事務休日等について
- ・ 卒業生だより
- ・ 行事予定（12月・1月）
- ・ 各種届出書類等
 - 変更届（1枚）
 - 証明願（1枚）
 - 証明書発行申込書（1枚）
 - 学校学生生徒旅客運賃割引証申込書（2枚）
 - リポート用紙購入申込書（2枚）
 - 質問用紙（1枚）
 - 追加履修届（1枚）

注意事項

1. 事務取扱時間
 - 月～土曜日 9:00～17:00
 - 日曜日 休み（ただし、単位修得試験やスクーリング等の行事のある場合は、その行事の開催時間に応じて事務の取扱いを行います。）
2. 電子メールの宛先
 - csoffice@ogu.ac.jp
 - 電子メール（書面も含む）での問い合わせには、必ず学籍番号と氏名を明記してください。
3. ホームページによるシラバスの閲覧について
 - 各授業科目のシラバスはホームページよりご確認ください。
 - なお、自宅にホームページを閲覧できる環境のない方につきましては、通信教育部事務室にお問い合わせください。
 - ホームページアドレス
 - <http://www.osaka-gu.ac.jp/tsushin/index.html>

掲 示 板

・単位修得試験（2月試験）の実施について

単位修得試験を次の要領で実施します。受験希望者は、所定の手続きを行って受験してください。

1. 試験日時

平成24年2月5日(日)10:00～16:00(本学・学外試験場)

2. 場 所

- (1) 本 学
- (2) 学外試験場

札幌、福島、東京、富山、浜松、名古屋、和歌山、姫路、鳥取、岡山、広島、高松、松山、高知、福岡、長崎、熊本、鹿児島 以上18試験場
学外の試験場は、「受験票」返送の際に受験者個々に連絡します。

3. 時 間 割

講時	時間	科目番号	授業科目名	科目番号	授業科目名	科目番号	授業科目名
1	10:00 ∪ 11:40	0100	哲学概論	1202	経営管理論	1658	民法
		0107	倫理学概論	1437	基本経済学	8002	医療経営情報論
		0126	地域地理学	1013	国際マーケティング論	5029	教育原理
		0203	現代憲法A	1061	国際会計論	5030	教育原理
		0204	現代憲法B	1407	金融経済論	5013	同和教育
		0319	心理学概論	1439	●財政学	5060	●教師論
		1056	原価計算論	1625	税法		
2	12:20 ∪ 14:00	0200	経済学概論	1005	●流通政策	1667	商法
		0202	法学概論	1058	会計監査論	8001	医学一般
		0314	地球の科学	1059	税務会計論	5001	教育心理学
		0317	統計学概論	1009	●商業数学	5004	商業科教育法
		0409	生涯スポーツ論	1203	経営統計学	5010	特別活動
		1000	商業学	1206	経営財務論	5061	商業科教育法
1004	国際貿易論	1657	民法	5062	商業科教育法		
3	14:20 ∪ 16:00	0109	歴史	1055	財務諸表論	8003	病院経営会計
		0115	文学概論	1060	経営分析	8004	福祉経営情報論
		0215	現代文化論	1200	経営学	8005	医療福祉経営論
		0216	政治学概論	1010	外国為替論	5002	教育方法学
		0304	生命の科学	1205	生産管理論	5011	生徒指導の研究
		0325	現代物理学	1210	経営組織論	5015	職業指導
		0408	健康と運動	1212	経営学史	5071	進路指導概論
		1003	マーケティング論	1668	商法		

(注) 1. 各講時(100分)において2科目まで受験できます。

2. 1科目の試験時間は50分間です。

3. 各講時内で1科目のみ受験する場合も、必ず開始時間までに試験場へ入場してください。

4. ●印の科目は教科書が変更されました。平成22年度以前に登録した者で、旧問題での受験希望者は受験申込時にその旨明記する必要があります。

掲 示 板

4. 試験問題

大阪学院大学通信教育部HP(<http://www.osaka-gu.ac.jp/tsushin/index.html>)より、『開講科目一覧』をクリックし、更に『シラバス』をクリックして、受験する科目の「講義要項 (Syllabus)」を選べば、問題が確認できます。

5. 試験範囲

次頁の「単位修得試験問題範囲番号表(2月試験)」を参照してください。

6. 受験資格

次の(1)~(3)を満たしていることが条件となります。

- (1) 学費を納付していること。
- (2) 受験する科目を履修登録していること。
- (3) 2単位科目は、レポートが合格していること。また、4単位科目は第1回・第2回のレポートが合格していること。

7. 手続書類

- (1) 単位修得試験受験申込書(本誌巻末に添付)
- (2) 返信用封筒(宛名明記・80円切手貼付)

8. レポート提出締切日

平成24年1月6日(金)必着

9. 受験申込受付期間

平成24年1月16日(月)～1月20日(金)【必着】

掲 示 板

単位修得試験問題範囲番号表 (2月試験)

試験日：平成24年2月5日(日)

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
哲学概論	2 4 6	商業学	1 2 10	商業数学	4 8 12 16 20
倫理学概論	6 8 10	マーケティング論	6 8 10	旧商業数学	4 5 9 13 20
歴史	2 5 8	国際貿易論	7 8 9	外国為替論	14 15 16 17 18
文学概論	2 5 8	流通政策	10 11 12	国際マーケティング論	5 10 15 16 17
地域地理学	2 5 8	旧流通政策	8 9 10	国際会計論	1 8 14 17 20
経済学概論	3 5 10	財務諸表論	5 9 10	経営統計学	8 10 15 16 20
法学概論	2 5 8	原価計算論	4 5 10	生産管理論	4 8 12 16 20
現代憲法A	3 8 10	会計監査論	4 6 7	経営財務論	16 17 18 19 20
現代憲法B	2 5 10	税務会計論	4 8 10	経営組織論	1 2 4 5 13
現代文化論	8 9 10	経営分析	4 5 8	経営学史	4 8 12 16 20
政治学概論	1 4 10	経営学	1 2 10	金融経済論	7 11 15 18 20
生命の科学	5 6 9	経営管理論	2 4 5	財政学	16 17 18 19 20
地球の科学	5 6 7	基本経済学	4 6 8	旧財政学	16 17 18 19 20
統計学概論	1 8 10	医学一般	1 2 10	税法	4 8 12 16 20
心理学概論	1 6 8	医療経営情報論	4 10 12	民法	9 10 11 16 20
現代物理学	5 8 10	病院経営会計	4 7 9	民法	3 7 17 19 20
健康と運動	2 4 10	福祉経営情報論	6 7 9	商法	16 17 18 19 20
生涯スポーツ論	1 6 8			商法	16 17 18 19 20
				医療福祉経営論	4 7 12 14 20

教職課程科目〔旧課程〕

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
教育原理	8 9 10	特別活動	1 2 10	職業指導	1 2 3 4 5
教育心理学	1 6 8	教育方法学	8 9 10		
教育原理	8 9 10	生徒指導の研究	2 4 10		
商業科教育法	4 8 10	同和教育	1 8 10		

教職課程科目〔新課程〕

授業科目	問題番号	授業科目	問題番号	授業科目	問題番号
教師論	1 9 10	商業科教育法	4 8 10	職業指導	1 2 3 4 5
旧教師論	3 8 9	特別活動	1 2 10		
教育原理	8 9 10	教育方法学	8 9 10		
教育心理学	3 6 7	生徒指導の研究	2 4 10		
教育原理	8 9 10	進路指導概論	4 5 6		
商業科教育法	4 8 10	同和教育	1 8 10		

注．試験問題は、通信教育部ホームページよりシラバスを参照してください。授業科目の前に「旧」のある場合は「シラバス2010」で確認してください。

各科目範囲番号より1題が出題されます。

通信教育部ホームページを閲覧できる環境のない方につきましては、紙ベースのシラバスを送付しますので、宛名を明記した紙片と120円切手を同封して通信教育部事務室までお送りください。

掲 示 板

・教育実習講義（事後指導）の実施について

教育実習終了後、教育実習の事例発表と反省に関して指導を行うことを目的として実施します。単位修得の要件ですので、本年度、後期に教育実習を行った人は、必ず受講してください。

1. 開 講 日 時

開 講 日	講 時	時 間 帯
2月11日(土・祝)		10:40～12:10
		12:50～14:20
		14:30～16:00
2月12日(日)		9:00～10:30
		10:40～12:10
		12:50～14:20

2. 実 施 場 所

本学（教室については当日、通信教育部事務室内に掲示）

3. 受 講 資 格

「教育実習日誌」の提出が必要です。受講申込までに提出してください。

4. 手 続 書 類

便箋等に「教育実習講義（事後指導）受講希望」の旨を記入し、返信用封筒（宛名明記、80円切手貼付）を同封して通信教育部事務室まで受講申込書等の関係書類を請求、または通信教育部公式ホームページよりダウンロードしてください。

5. 受 講 申 込 締 切 日

平成24年2月3日(金) : 「受講申込書」はこれ以前に請求してください。

 掲 示 板

・教職総合演習の開講について

教職総合演習を次のとおり開講します。受講予定の方は所定の手続きを行ってください。

1. 開講期間

平成24年2月15日(水)～2月19日(日)【5日間】

2. 講義時間と講義内容

開講日	講時	時間帯	講義内容
2月15日(水)	1	9:00～10:30	第1回 総合的学習とは？
	2	10:40～12:10	第2回 日本人にとって、異文化理解のハードルとは？
2月16日(木)	1	9:00～10:30	第3回 異文化理解の基礎としての風土・歴史(スイス国を事例として)
	2	10:40～12:10	第4回 興味あるテーマについての探究活動
2月17日(金)	1	9:00～10:30	第5回 「いのち」にまつわる諸問題
	2	10:40～12:10	第6回 いじめ、自殺と「いのち」
2月18日(土)	1	9:00～10:30	第7回 青少年問題と「いのち」
	2	10:40～12:10	第8回 生命倫理と「いのち」
2月19日(日)	1	9:00～10:30	第9回 「国際理解」の発表
	2	10:40～12:10	第10回 全体試験

3. 受講申込手続

便箋等に「教職総合演習受講希望」の旨を記入し、返信用封筒(宛名明記・80円切手貼付)を同封して通信教育部まで受講申込書を請求してください。(「教職総合演習受講申込書」はホームページからもダウンロードできます。)

4. 受講申込締切日

平成24年2月3日(金)：「受講申込書」はこれ以前に請求してください。

掲 示 板

．学力に関する証明書（成績証明書を含む）の発行時期について

平成23年10月から平成24年3月までに単位修得した授業科目の成績認定は、平成24年3月19日付となります。

よって、平成24年2月5日の本年度最終単位修得試験における合格科目もこの日付けで単位認定を行うこととなります。

学力に関する証明書（教職用）が必要な方は平成24年2月19日以降に発行申込手続きを行ってください。平成24年3月19日前後に申込が集中しますと発行が遅れる可能性がありますので事前にご連絡します。

．平成23年度 単位修得試験日程について

平成23年度の単位修得試験日程は下表のとおりです。

試 験 日	レポート提出締切日	受験申込受付期間
H24. 2 . 5 (日)	H24. 1 . 6 (金)	H24. 1 .16(月)～H24. 1 .20(金)

．平成23年度 スクーリング単位修得再試験について

平成23年度のスクーリング単位修得再試験の日程は下表のとおりです。

試 験 日	受 験 申 込 期 間	備 考
H24. 1 .22(日)	H24. 1 . 6 (金)～H24. 1 .10(火)	秋期・冬期スクーリング対象

(注) 1月22日(日)実施の単位修得試験(再試験)は、平成23年度秋期・冬期スクーリング参加者で授業最終時に行った単位修得試験が不合格の者のみを対象に行う。

掲 示 板

．平成23年度 リポート提出日と添削後の返送予定（目安）について

通信教育のリポートは第4種郵便の適用を受けており、通常（第1種）の郵便よりも到着するまでに日数を要します。また、土日祝日等における郵便配達の都合上、リポート到着が下表の予定日より遅れる場合も多々あります。

その点を考慮した上でリポートを提出するようにしてください。特に、同一科目で第1回目リポートの合格直後に第2回目リポート提出の際、上記のケースにより間に合わない可能性が多分にありますのでご注意ください。

リポート提出締切日 (事務室受付期間)	提出者の手元へ	リポート提出締切日 (事務室受付期間)	提出者の手元へ
H23.12.12(月) (H23.11.29～12.12)	H23.12.24(土)	H24.2.13(月) (H24.1.17～2.13)	H24.2.25(土)
H24.1.6(金) (H23.12.13～H24.1.6)	H24.1.14(土)	H24.3.12(月) (H24.2.14～3.12)	H24.3.24(土)
H24.1.16(月) (H24.1.7～1.16)	H24.1.28(土)	H24.3.30(金) (H24.3.13～3.30)	H24.4.11(水)

事務局が閉局あるいは職員が不在の時に、リポート提出のつもりでカウンターの上や事務局前などに置いて帰っても当方では受付できません。もしそれに基づくトラブルが生じて、当局では一切責任を負えません。

．学費の分納（後期生）について

後期生（10月入学）で平成23年度の学費分納者は、2回目の納付期限が平成24年1月31日(火)までとなっていますので、納付期限までに納付してください。

なお、納付金額など不明な点があれば、通信教育部事務室まで問い合わせてください。

掲 示 板

. 事務休日等について

年末・年始等の事務休日は次のとおりです。事務取扱いを行いませんので、注意してください。

1. 平成23年12月29日(木)から平成24年1月5日(木)まで
2. 平成24年1月14日は土曜日ですが、大学入試センター試験実施のため事務の取扱いを行いません。



キャンパス内全面禁煙

掲 示 板

．卒業生だより

平成23年 9 月24日に卒業された先輩方から、メッセージが届いております。勉学を続ける上でのご参考にしてください。

今里健一郎

「卒業に際しての所感」

2008年度10月に3年時に編入しました。そして3年間掛かりましたが無事卒業することが出来ました。これもひとえに、家族の支え、職場の理解、事務局の方の親切な対応があり非常に感謝しております。自分の努力もある程度はあろうかと思いますが多くは周りの人々に支えられたからこそ卒業出来たと考えております。

国立工業高等専門学校を卒業後、技術者として化学メーカーに勤めておりました。そのころから他大学にて再度勉強したいと考えておりましたが、結婚、子供の誕生となかなか機会がありませんでした。その後、メーカー営業、工場事務課、工場物流業務に携わるうちに基本的な考え方として経済、流通、会計、国際貿易の知識の必要性を感じるようになりました。そこで、インターネットで検索して自分にとって一番さわい大学、大阪学院大学通信教育部にお世話になることになりました。当初は、スクーリング5日間の休みが取れるか非常に心配しましたが、何とか職場の理解と応援を得ることが出来、問題なくスクーリングに参加できたことは卒業できた大きなポイントとなりました。レポートに関しては、当初不合格も多々ありましたが、教授のコメントを理解すること、レポートの構成をよく考えること、教科書を熟読することでなんとか乗り越えることが出来ました。

基礎的な部分の習得はできたと考えますので、これからは得た知識を仕事に使用するまた、さらに知識を深く掘り下げて行きたいと考えております。卒業できたのは、私の周りにいる人々のおかげだと感謝しております。ありがとうございました。

「これから通信教育部で学習される方へ」

通信教育で学習することの目的意識を強く持つことが大切と考えます。なぜ通信教育で勉強するのか、自分なりにしっかりと持つことです。勉強する目的は各自いろいろあるかと思えます。その目的を果たしたときに、どのような自分になっているか、次はこんな事を考えているなど、卒業できた時のイメージを持つことは、勉強を進めていく上で大きな推進力になります。

最後になりますが、諦めないで卒業まで頑張ってくださいと思います。応援しています。

掲 示 板

植村 茂成

「卒業に際しての所感」

私がこの大阪学院大学通信教育部に入学してから4年がたち、今こうして卒業するまでに至ったこと大変嬉しく思っています。入学した動機は、少年野球のコーチになって子供たちを指導する際に子供たちの夢や目標に向かって成長する姿をみて、自分自身が未熟であることを痛感し、大学卒業という目標を成し遂げたいと感じたからです。

私は、小・中・高の学生時代、強制される勉学に嫌気がさし、卒業後は民間企業に就職しました。しかし、社会人となって仕事をするようになり、勉強することが必要なことであると考えようになりました。その理由は、歳を重ねて社会的立場が上になると目標とされる人間でありたいと思うからです。

通信教育は、ほとんど独学です。したがって、レポート作成では自分自身で合格するまで勉強し続けなければなりません。私は、レポート合格まで7回要したことがありました。正直、合格するのかなという不安もありましたが、諦めずに頑張ってよかったと思います。

大学卒業後も勉強を続けていって、いろんな資格に挑戦したいです。最近、自己学習が習慣となり、パソコン関連や英語の資格を勉強しています。

「これから通信教育部で学習される方へ」

入学した当初、戸惑うのはやはりレポートだと思います。普段、文章を書かない私はレポート作成には苦労しました。はじめ、レポート作成される方は図書館に行って作成手順が書かれてある本をよく読んでから作成されることをお勧めします。

独学で勉強することは大変困難です。自分自身に無理なく計画的に単位を修得するためには、ある程度のルールを決めたほうがよいです。私自身は、レポート作成時には図書館で最低2冊は関連した内容の本を読みました。試験前には、余裕をもって2・3週間前ぐらいには準備するようにしました。

細かいルールは、ご自身で無理なく計画してください。あとは、スクーリング学習はできるだけ出席していただきたいです。スクーリングでは、自分と同じような境遇の学友の方と相談したり、先生にレポートの相談したりできるからです。

最後になりますが、レポートや単位修得試験に不合格となってもあきらめず最後まで頑張ってください。

“Never give up” です!!

掲 示 板

河本 佳子

大阪学院大学の先生方及び、私と同じ通信教育部で学んだ生徒の皆様、通信教育部の事務員の方々のおかげで、私は、大阪学院大学を卒業できることになりました。皆様、本当にありがとうございます。

私は、今から8年前の秋に、この大学に入学しました。きっかけは、当時、家で一人で簿記を学習していた私に、母が、通信教育部のある大学への進学を勧めてくれたことでした。その後、私は、インターネットで、通信教育部のある大学について調べたら、大阪学院大学について書かれていました。大阪学院大学は、私の家から通いやすい場所にあり、環境が良さそうな大学だと思ったので、入学手続きをしました。実際に入学してからは、自分が思っていた以上に、充実した学生生活を送ることができました。大学に、マクドナルド等の学生食堂があることや、大学のテキストを販売している紀伊国屋書店があることも、この大学の長所だと思います。私も、これらの施設をよく利用しました。

私は、卒業に必要な単位である124単位のうち、30単位以上をスクーリングにおいて修得しました。スクーリングの良い所は、通信教育部で学んでいる他の生徒さん達と交流できることや、自分一人では学ぶことが難しい教科について、担当の先生がわかりやすく教えて下さることだと思います。スクーリングで学んだことで、英語やドイツ語、スポーツ実習、マーケティング等の知識を、深めることができ、自分の人生にとって、良い経験になったと思います。

レポートを提出し、単位修得試験に合格することによって、単位修得できる科目については、私は何回も、レポート提出をやり直したこともありました。その後、何度もレポート提出をしているうちに、何をどのように書いたら良いか分かるようになりました。

これから、この大学で学ぶ皆さんも、焦らず、自分のペースで、レポート提出や、スクーリングを受講して単位修得して下さいね。在校生の皆さん及び新入生の皆さんが、充実した学生生活を送ることができるように、心からお祈りいたします。

高橋 一春

「卒業に際しての所感」

私は、2008年10月に3年次編入し、3年間で卒業することができました。本校への入学のきっかけは、以前に取得した、日商簿記検定3級、2級の知

掲 示 板

識をいかしたいと感じ高等学校の商業科の教員免許状を取得可能な本校への入学を決意しました。最初は、商業科の教職の科目を中心に修得しましたが、もっと総合的に学習する方が将来的に自分自身を成長させられると考えて、62単位すべて修得して、本校の学士も取得しようと考えました。順調に単位を修得でき、最大の難関である教育実習を残すのみとなりました。事前に教育実習講義を受講して、その時に担当の先生から様々なアドバイスを頂き、本当にためになりました。教育実習は、約2週間の期間、出身高等学校で実施されました。授業の科目は、現代社会を担当しました。生徒の前で、授業を進行させる困難さと、HRでの連絡事項の説明や生徒とのコミュニケーションなどうまくできない自分にいらだちを感じたりもしました。それ以上に困難であったのは、実習日誌の記入でした。1日の出来事、反省を2ページに記入するため、授業の指導案や研究と並行してしなければならないため、期間中、毎日深夜まで、作業を続けました。本当に様々な面で苦労しましたが、事前の教育実習講義のおかげで、授業は緊張することなく話すことができ、講義を受講して本当によかったと思っています。無事に教育実習の単位を修得して、教員免許状を頂いた時は、本当に心の底から喜びを感じたのとともに、続けてきてよかったと感じました。さらに、3年間の中に、2年がかりで他大学の夏期講義に参加して、図書館司書の資格と学校図書館司書教諭の資格も取得でき、自分自身に大きな自信になりました。本校の62単位の修得も今回、何とか達成できて、2校目の学士取得が実現しました。勉強を継続し、卒業、資格取得は大変ですが、一歩ずつ前に進むことによって、少しずつ、現実のものになると私自身実感しています。本校は、教職過程（商業科）も開設していて、資格にも力を入れていることが私自身3年間在籍して実感しました。モチベーションを保つために、利用することも一つの方法だと感じています。また、レポートのコメントも各先生、非常に丁寧に指導して下さい、参考にしながら課題をこなすことにより自分自身、成長していることを実感できました。また、職員の方も親切にわからないことも説明して下さい大変助かりました。私自身、商業科の教師の夢があるため、それに向かってこれからも日々努力していきたいと思えます。最後になりましたが、少しでも多くの方々卒業できるように私自身これからも応援させていただきます。

富地 正義

「卒業に際しての所感」

卒業に際して、入学当初からこれまでを振り返ると、期間としては長くかかったものの私自身は充実して過ごすことが出来ました。

掲 示 板

学生時代の私は、どちらかというと考えられたことをこなすといった感じが多かったと思います。しかし通信教育部での学習や私自身の仕事上の経験を通して、自分自身が一步前に踏み出すことで、色々な仕事を学ぶことが出来るという「気づき」を得ることが出来ました。

今後も様々なことに一步踏み出し、より多くの気づきを得たいと考えています。

大阪学院大学の教職員の方々には大変お世話になり感謝しております。ありがとうございました。

「これから通信教育部で学習される方へ」

通信教育の学習は、自分で計画を立てて進めていくという力を、少々のできあきらめないことが求められると思います。その為には入学当初の想いを時々振りかえることが良いと思います。その上で小さくともコツコツと積み重ねていくことが遠回りのように一番の近道だと思います。

スクーリングにも、スケジュールが許す範囲で参加してみてください。同じ通信で学んでいる方々と情報交換することで何かしらのヒントを得ることが出来ると思います。

これから学習する方々には、それぞれ目標をお持ちだと思います。ぜひそれが達成出来るように頑張ってください。

中 村 将

「卒業に際しての所感」

2008年4月に入学し、今回卒業を迎えることができました。3年編入でしたので、できれば2年で卒業できれば良いと思っていました。しかし、種々の事情のため、3年半かかりましたが満足しております。

楽しかった思い出は、何と言ってもスクーリングです。知人・友人も多くできました。授業やりポート作成でも、色々参考になることを教えていただいたことは、私にとって忘れられない懐かしい思い出です。

私のモットーは、「生涯学習」です。当大学を卒業後は、更に別の大学で学び、知識・教養を高めたいと思っております。

最後になりましたが、卒業できましたのは、諸先生方、職員の皆様、クラスメートの方々のお蔭です。この紙上をお借りして、心よりお礼を申し上げます。

掲 示 板

「これから通信教育部で学習される方へ」

言うまでもないことと思いますが、通信教育は基本的には自分との戦いであり、特に仕事を持たれている方は苦しいとは思いますが、置かれた環境の中で、レポート作成、単位修得試験（以下単修）、スクーリングと仕事との兼合いなどをどのようにして調整することが一番の問題であると思います。私の場合は、リタイアしており、時間は十分ありましたが、現在仕事を持たれている方たちにとっては、これから申し上げることは、あまり参考にならない点もあるかと思います。

当大学は、単修は年4回行われることが決まっています。私の場合、レポート作成、単修の勉強日数を単修日から逆算して勉強しました。幸いなことに、当大学では「単位修得試験要項」により、試験実施月ごとに問題が決められており、範囲を絞ることができましたので、効率的であったと感じました。

レポート作成で注意する点ですが、ただ漫然と書くのではなく、レポート課題に書いてある出題者の意図をよく理解するようにしてください。したがって、レポート作成に全力を注ぎ、これに合格すれば、単修は9割方合格できるという気持ちで取り組みました。

私の場合は、以前から朝型人間ですので、毎朝4時頃起床し、朝食前に必要な勉強を終えるようにしました。静かな環境の中で、誰からも邪魔をされずに勉強をすると、気持ちが集中でき、良く頭に入りました。

私の記憶に間違いがなければ、2008年6月から2010年6月まで9回連続して受験していたと思います（全部で10回です）。

「継続は力なり」という言葉を信じて勉強を続けました。

私の経験が少しでも皆様の参考になれば幸いです。

在学中の皆様のご健闘をお祈りします。

西園小百合

「卒業に際しての所感」

もうすぐ、わたしの通信教育部での過程が全て終了します。わたしは専門学校在学中である2年の後期より、通信教育部での学習を始めました。現在は、専門学校を卒業し、理学療法士として、また、社会人2年目として日々、忙しく働いております。学生時代は自由な時間が多く、通信教育部での学習・試験勉強に費やす時間が十分にとれていましたが、社会人になると仕事の合間などを見つけて時間を作らなければならなくなり大変苦労しました。しかし、こうして無事に授業や試験を全て終了することとなり、身心ともにとても充実した、ひとまわり成長したような所感を抱いております。

掲 示 板

す。

さて、わたしが学士号を取得しようと考えた経緯について以下に述べていきます。わたしはもともと鹿児島出身であり、高校卒業と同時に大阪の専門学校へと入学したため、学士号の取得はできません。また、わたしは将来的に田舎へ帰ろうと考えていますが、鹿児島では大学卒業と専門学校卒業では待遇が変わる職場が多く存在します。そこで、わたしは学士号を取得することを決意しました。将来のことを考え、専門学校と同じ系列である本校へ通うことを決めました。

最初は不安もありましたが、徐々に授業の受講や試験、レポートに慣れ、充実した大学生活を送ることができました。また、先生方は基礎からしっかり教えてくださるので、とても分かりやすい授業内容でした。

わたしは現在、最初に述べたように理学療法士として働いているため、年齢や職業、さまざまな患者様と接しています。患者様とのコミュニケーションの中で、本校で学んだ経営学・簿記など会話の幅が広がるものが多くありました。最初は学士号を取得することを目的に学習してきたことが、このように自分の生活の中で活用できたり、発揮できることをとてもうれしく思います。これからも、本校で学んだことを自分の糧とし、生かしていきたいと思えます。

これから通信教育部で学習される方は、それぞれの目標・目的があり受講することを決定されたのだと思います。いろいろ大変なことがあると思いますが、目標を達成したときの達成感・充実した心身を得ることができ、今後の自信に、自分の成長に繋がっていくと思います。それぞれの目標に向かって頑張ってください。あなたの努力、充実した先生方の御指導や授業により、きっとあなたの目標に近付けるでしょう。

松尾 光代

「卒業に際しての所感」

卒業という目標が達成でき、今ホッとしております。

入学した頃は、レポートを書き、2単位合格していくのは、何年かかるのかと思うほど先が見えない時期がありました。最初は、シラバスの確認ミスや、テスト科目の時間割の意味がわからず、受験できなかつたりと、情けなく思うこともありました。テスト合格が続くことは、勉強も気分よくできますが、不合格の通知がくると、自分で気分を持ち上げるのに、1カ月位かかったこともありました。

通信教育で学習することは、自分自身でいかに「勉強するぞ!!」という意欲を持つことがポイントになります。よって、卒業は、何年で卒業するん

掲 示 板

だという計画をたて、レポートを書き進めてください。

スクーリングは、直接先生に学べることや友達もがんばっている姿が見られます。参加することにより、広がる知識や、勉強していく上でのコツがわかるので、おすすめです。

卒業をめざすことは、自分で考えるという大きな力が育ち、今後自分自身のささえとなると思います。

どうか、へこまず、落ちこまず、自分のペースで、一步一步進んでいってください。応援しております。

最後になりましたが、在籍中に会った先生や友、事務室の方々、本当にありがとうございました。

三宅 大輔

「卒業に際しての所感」

2年次の編入で入学し、4年を掛けての卒業となります。今はすごく解放感に満ち溢れています。年に4回の試験で1回に2科目を受験することを目指してスケジュールを立てました。希望に満ち溢れていたのも、積極的に時間を見つけては、勉強に時間を充てていましたが、秋と冬のスクーリングの時期はスクーリングの間に単位修得試験があるので、とにかく全ての時間を勉強に充てないといけなくらい、厳しい時間を過ごし、絶望感に満ち溢れます。

希望 絶望 解放。学生生活を簡単にまとめると、このような感じでしょうか。

スケジュールを立てて勉強していくと、今、遅れているのか、順調なのか、確認をしながら進めていくことができます。また、スケジュール通りに進めることが、目標になり日々の勉強へのモチベーションに繋がったのも事実です。ひとりで勉強を続けていくことは大変ですので自分なりの勉強方法を見つけることが大事だなと思いました。

この4年間はすぐに仕事などの実益に繋がることは少ないかも知れませんが、社会や実生活で身近に接していることに、関心をもつきっかけになったと感じています。せつかくきっかけを掴んだので、これからも勉強は続けていきたいと思います

最後になりますが、学校の先生方、通信教育部の皆様、4年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

掲 示 板

和田 治之

「卒業に際しての所感」

私は、平成20年4月に、52歳で、大阪学院大学の通信教育部3年次に編入学し、4年間で卒業する計画でしたが、思いがけなく、3年半で、卒業を迎えることができました。

これで、シドニーオリンピック金メダリストの高橋尚子さんの後輩になりました。

これも、ひとえに、学友の諸先輩方と事務局の方々に、適切なアドバイスをいただけたおかげだと思います。ありがとうございました。

私が、大阪学院大学の通信教育部に入学するきっかけとなったのは、ボケ防止とアンチエイジングの一環として、勉強したいと思ったのと、平成9年に取得しました税理士資格の復習の意味もかねて、会計科目の勉強をしたいという思いから入学しました。

会計科目の授業では、国際会計基準について学ぶことができ、非常に、有意義であったと思います。

また、普通の大学とは異なり、学びたい人が学ぶ大学を卒業できたことは、自分にとっても、うれしいことです。

これからは、卒業したから、これで勉強は終わりなどと考えず、卒業は一区切りにすぎないと考え、ずっと、学び続けること、特に社会経験を積んだうえで、改めて学ぶことが大事だと実感しました。

仕事で忙しい中でも、少しでも学ぼうという気持ちが大事だと思います。

そして、それは、必ず、役に立ちます。苦手だった内容を理解できるようになることもあるし、まったく、知らなかった世界を知ることもあります。それが、直接、仕事や生活に結びつくかどうかは別にして、自分の人生が、知的に豊かになることは、間違いのないと思います。

常に、学び続けること、それは、自分自身に限界を設けることなく、成長し続ける姿勢でもあるのです。自分には、まだ、学ぶべきことがあると考えるのは、謙虚な姿勢でもあり、それは、自分自身を、さらに、育てることになるとも思います。何十歳の手習いでも問題なしです。

最後に、通信教育部には、ほとんどの方が向学心に燃え、人それぞれ様々な目標を持って入学されていると思います。そして、ほとんどの方が仕事をしながらの学習なので、仕事と学習の両立は、大変だと思いますが、少しずつでも、学習時間を作り続けることが大切であると思います。

「継続は力なり」を活かして、あきらめずに、頑張ってくださいと思います。

 掲 示 板

. 行事予定 (12月)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 冬期スクーリング 開始
4 冬期スクーリング	5	6	7	8	9	10 冬期スクーリング
11 冬期スクーリング	12	13	14	15	16	17 冬期スクーリング
18 冬期スクーリング 予備日 事務休日	19	20	21	22	23 天皇誕生日 事務休日	24
25 事務休日	26	27	28	29 事務休日	30 事務休日	31 事務休日

 掲 示 板

. 行事予定 (1月)

日	月	火	水	木	金	土
1 元旦	2	3	4	5	6	7
事務休日	事務休日	事務休日	事務休日	事務休日	秋・冬期スクーリング 単位修得再試験 受験申込受付開始 至1月10日 レポート提出締切日 (2月試験対象)	
8	9 成人の日	10	11	12	13	14
事務休日	事務休日					事務休日
15	16	17	18	19	20	21
事務休日	受験申込受付開始 (2月試験対象) 至1月20日				→	
22	23	24	25	26	27	28
秋・冬期スクーリング 単位修得再試験 (本学・学外)						
29	30	31				
事務休日		後期生：学費 分納者2回目 納付期限				